



若鷹たちの Be.Real

選手の現在の取り組みや今の思いなどを描写する【Be.Real】
今回は谷川原健太捕手です。

プロフィール

谷川原健太（たにがわら けんた）27歳 愛知県出身
豊橋中央高 - ソフトバンク / 2015年ドラフト3巡目

【谷川原健太のBe.Real】

プロ10年目、初めて開幕スタメンマスクを勝ち取りました。開幕戦の日はいつも以上に緊張と集中力が感じられました。当然、意気込んで挑んだ一戦でしたが、まさかの悪夢が待っていました。

開幕投手の有原航平投手は、5回まで完全投球と最高のスタートを切りましたが、6回に一転。本塁打含む6本の安打を打たれ6失点。7回にもその流れを止めることができずに、7回7失点で敗戦投手に。谷川原捕手も敗戦の責任を背負い込みました。

今月7日に出場選手登録を抹消され、ファームへ。投手とのコミュニケーションの部分など、課題克服に向けて再スタートを切りました。



【谷川原健太のBe.Real】



4月9日のウエスタン・リーグ広島戦で、降格後初出場した谷川原捕手。この日は東浜巨投手とのバッテリーでした。

春先から結果を残しながらも開幕ローテーション入りが叶わなかった東浜投手。様々な思いもあるはずですし、次のチャンスを見据え、絶対に落とせない一戦でもありました。谷川原捕手は、試合前に東浜投手からこんな声をかけられていました。
「1軍のつもりで投げるから、そのつもりで来て」。

いつだって気持ちは入っていますが、その言葉でより一層発奮。事前に入念なミーティングでコミュニケーションもばっちり取れていました。谷川原捕手は「僕が巨さんと組んだ時、シンカーに頼りがちだったんです。巨さんから『偏らないように』という言葉もあったので、今日は満遍なく使っていけたし、巨さんのいい球をチョイスしながら出来たと思います」と充実感が垣間見えました。

【谷川原健太のBe.Real】

結果的に東浜投手は7回2安打無失点。試合も4－0で勝利し、谷川原捕手は完封リードで勝利に貢献しました。

「細川コーチがたくさん教えて下さるので、全てを取り入れて、変わった姿を見せたいです」。
大きな経験を胸に刻み、悔しさを糧に成長を誓う“今の思い”を語ってくれました。

text by Uesugi Azusa

